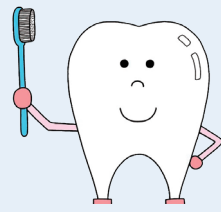




子どもの歯を守ろう！

～6月4日から10日は「歯と口の健康週間」です～



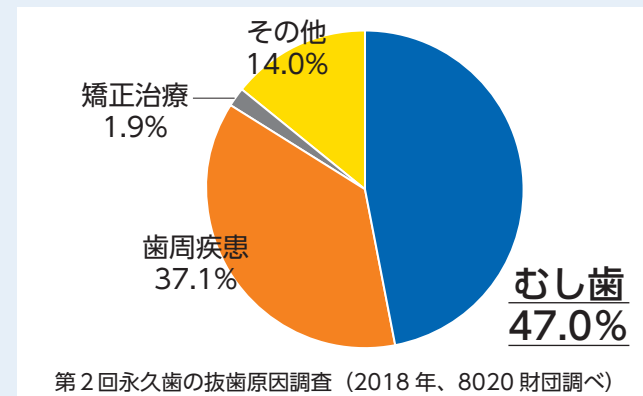
健康推進課 ☎22-1362

白石の子どもは「むし歯」が多い！？

本市の3歳6カ月児健康診査では、かつて3人に1人以上はむし歯が見られ、宮城県の中でもとりわけむし歯の多い地域でした。

ここ数年は減少傾向にありますが、全国的にむし歯が見られるお子さんは減っているため、国や県の平均になかなか追いつかない状況です。

歯を失う原因の約半分がむし歯！



乳歯のむし歯は進行が早く、そのまま放置すると永久歯の形や色に影響が出ます。

子どものころからの歯みがき習慣が、将来の永久歯を守ることに繋がります！



～むし歯予防のポイント～

①おやつは時間と量を決めてとりましょう！

だらだらと食べることで食べ物が口の中にある時間が長くなり、むし歯になりやすくなります。アンケートの結果からも、「おやつの時間が決まっている」「おやつの量が決まっている」と回答したお子さんは、そうではないお子さんと比べてむし歯のリスクが低い結果がみられました。



②フッ化物（フッ素）を活用しましょう！

フッ化物は歯の表面を強くし、むし歯になりにくくする効果があることから、市内の一部保育園幼稚園・こども園では、フッ化物洗口（うがい）を行っています。ご家庭ではフッ化物入りの歯磨き粉の使用や歯科医院でのフッ化物塗布が効果的です。



③歯科医院での定期健診とフッ化物の定期的な塗布を受けましょう！

子どもの歯科受診のスタートは、歯が生え始めたころ（6カ月から1歳6カ月ごろ）が目安です。むし歯などの問題がない場合でも3カ月から半年に1回のペースを目安に受診しましょう。



協力 東北大学大学院歯科学研究科、東北大学東北メディカル・メガバンク機構

令和7年度下半期 公立刈田総合病院の運営状況

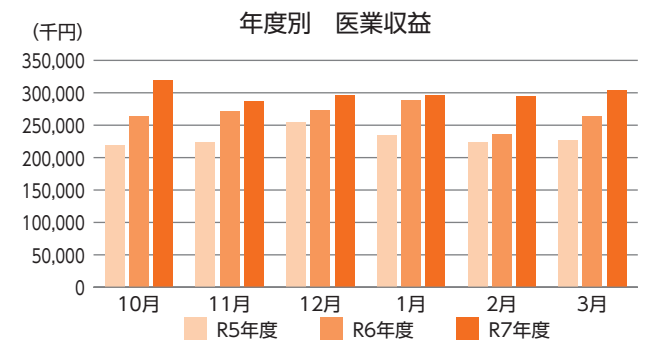
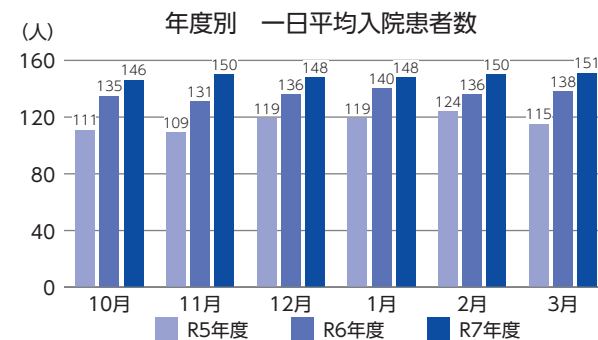
健康推進課 ☎22-1362

公立刈田総合病院の令和7年10月から令和8年3月までの半年間の運営状況についてお知らせします。



（1）患者数など

一日平均の入院患者数は、各月とも前年度を上回り、令和7年度下半期の月平均で149人となり、前年度と比較すると月平均で13人の増加となっています。また、患者数の増加により、医業収益も前年度と比較して約12%増加した一方、物価高騰などの影響により、医業費用についても前年度と比較して約6%増加しました。

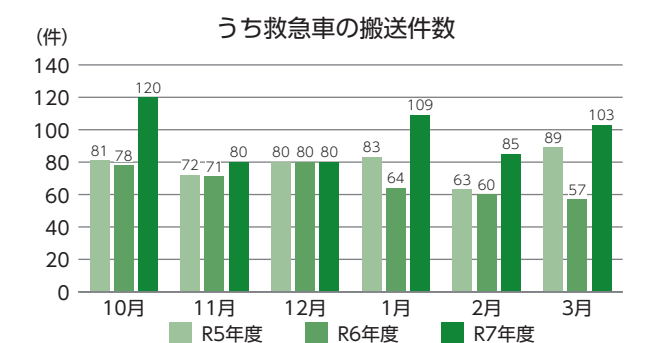


（2）救急医療

救急患者総数は、救急車で搬送のほか、休日・夜間などに緊急で受診した場合の件数となります。

そのうち、救急車で搬送件数は、月平均で96件の受け入れとなり、前年度より28件増加しました。

令和7年度全体での受け入れは1,120件となり、令和5年度の指定管理者による病院の管理運営開始以降、初めて1,000件を超えました。



（3）回復期リハビリテーション病床の運営状況

令和7年6月に回復期リハビリテーション病床を9床再開し、現在60床の病床が稼働しています。リハビリを行う療法士は、令和8年3月現在で35人在籍しており、指定管理開始時の令和5年4月から20人増加しています。

